

上小阿仁村公共施設等総合管理計画に基づく  
「個別施設計画」（福祉系施設）

## 1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	かみこあに保育園	小沢田	存続	建替えを実施
2	上小阿仁村高齢者生活福祉センター	小沢田	存続	機能維持のための修繕を実施
3	上小阿仁村立国保診療所	小沢田	存続	建替えを実施
4				
5				

## 2 施設管理に関する基本的な方針

○かみこあに保育園は村で唯一の児童施設であるが、築41年が経過し施設の老朽化が目立っている。また保育入園の低年齢化により、保育室が手狭で十分なサービスを提供できない状況にある。必要最小限の修繕を講じながら早急に建て替えを検討する必要がある。

○上小阿仁村高齢者福祉センターは平成4年度に建設された施設である。また、併設で上小阿仁村保健センターを平成6年度に建設した。耐用年数について、28年が経過しており、老朽化等（設備更新）による修繕は増加している。村内唯一の福祉保健施設であることから、耐用年数を経過するまでは施設の機能維持のため計画的な修繕を実施する必要がある。

○診療所については、地域の医療を担う基幹施設として今後も存続させ、村民に安全な医療環境を提供できるよう、改築を行いながら、適正な維持管理に努める。

1	施設名	かみこあに保育園
---	-----	----------

## 1 施設の概要

施設名称	かみこあに保育園	所在地	小沢田字向川原210番地
施設面積	560.00 m <sup>2</sup>	建設年	1979年12月
構造・階数	鉄筋コンクリート造 1階	台帳価格	17,994,240 円

## 2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面が改善検討
基本的な方針	存続	建替えを実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>保育園の利用者はこの数年間は40人程度で推移しており、今後も急激な増減は見込まれないが村で唯一の児童施設でありサービスの提供は必要不可欠である。築41年が経過し、施設の老朽化が目立っている。また保育が低年齢化しており、建設当時から保育環境が大きく変化し乳児に対しては十分なサービスを提供できない状況にある。早急な建て替えを検討する。</p>		

## 3 目標使用年数 【 今後 2 年以上使用 】

<p>目標使用年数は60年であり、2020年度で41年が経過している。今後19年以上の目標年数であるが、現状から目標年数までの使用は不可能と思われる。2025年度までに建て替えを実施し、それまでは破損箇所の修繕のみを講じながら使用する。</p>
--

## 4 管理上の課題等

<p>施設全体が老朽化（築41年）、通路舗装、外構が劣化している。給食施設は老朽化のため衛生面で心配がある。床板や窓など断熱の効果が感じられず冬期間は暖房費が嵩む。</p>
--

## 5 管理に関する実施方針

<p>児童の保育活動の支障となる破損・故障に対応する修繕のみ実施し、新たな機能追加は実施しない。</p>
--

## 6 管理に関する実施計画（計画期間10年：2021～2030）

事業年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
2025	建て替え	565,301	
	( 合 計 )	565,301	

2	施設名	上小阿仁村高齢者生活福祉センター
---	-----	------------------

## 1 施設の概要

施設名称	高齢者生活福祉センター	所在地	小沢田字向川原80番地
施設面積	965.00 m <sup>2</sup>	建設年	1992年12月
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート 1階	台帳価格	115,388,448 円

## 2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の福祉保健業務を担う施設であることから、耐用年数を経過する2055年まで施設の機能を維持しなくてはならないため、計画的な修繕を実施する。

## 3 目標使用年数 【 今後 35 年以上使用 】

目標使用年数が60年であり、令和2年度で経過年数が28年となっているため、35年以上の施設使用を目標とする。
--

## 4 管理上の課題等

併設されている保健センター（1995年3月建設）について、高齢者生活福祉センターと同時期に建設された施設でないため、保健センター分の修繕費増が懸念される。また、両施設内の設備更新時期が難しいと推測される。
--

## 5 管理に関する実施方針

修繕等について、指定管理者（村社協）と協議しながら、必要箇所の修繕を行い管理を行っていく。また、両施設は村で唯一の保健施設のため施設の存続が優先であることから、2024年以降も計画的な修繕を実施する。
--

## 6 管理に関する実施計画（計画期間10年：2021～2030）

事業年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
2022	屋根改修工事	13,400	
2023	非常照明交換工事	910	
2024	外壁等修繕	5,000	
	( 合計 )	19,310	

3	施設名	村立上小阿仁国保診療所
---	-----	-------------

## 1 施設の概要

施設名称	村立上小阿仁国保診療所	所在地	小沢田字向川原214番地
施設面積	971.00 m <sup>2</sup>	建設年	1984年3月
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート 1階	台帳価格	23,370,570 円

## 2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の改善検討
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

医療水準の向上や民間医療機関の進出が期待できない地域における医療の確保等の必要性から、地域の医療を担う基幹施設として設置されている。医療に加え、健康、介護、福祉サービスを提供する「地域包括ケアシステム」の役割も果たしているため存続させていく。

## 3 目標使用年数 【 今後 3 年以上使用 】

現診療所は、昭和59年に建設されており37年経過している。今後3年以上の使用を目標とする。
---

## 4 管理上の課題等

経年劣化による修繕が懸念される。施設の屋根の向きなど機能面が雪国に適していないほか、待合室の天井が高く冷暖房の効果が低い、壁もガラスが多く、断熱効果が低い。ボイラーがパネル式のため、冬期間は別にストーブを用意しなければ温まらない。診察室に扉が無くスピーチプライバシーの問題があるため早期の改修が必要である。
---

## 5 管理に関する実施方針

推奨使用期限到達（経年劣化）による電気設備、水道設備、冷暖房設備の更新が必要となっているが、目標使用年数までは、機能維持のための修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。
--

## 6 管理に関する実施計画（計画期間10年：2021～2030）

事業年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
2021	正面自動ドア更新	330	
2021	高圧負荷開閉器更新（PCB検査含む）	590	
2023	改築設計委託	50,000	
2024	診療所新築工事、医療機器導入	800,000	
	( 合計 )	850,920	